

8. 賛美の空気¹

1. ちょうど、酸素や空気が・なくてはならぬものであるように、神の霊もまた、私たちの・いのちを元気づけるエージェント（行為者・代理人）で・なくてはならぬものです。²

もちろん、・・・キリストを信じる人にとっては、神の霊は、酸素と同じように、なくてはならぬもの、また浸透性のものです。³ 私たちは、いのちのために空気を必要とします。そして、健康のために、良い（上質の）新鮮な空気を必要とします。

2. [新共同訳] 創 1:1 初めに、神は天地を創造された。1:2 地は混沌であって、闇が深淵の面にあり、神の霊が水の面を動いていた。

2.1. 2節は、人間誕生のための準備の段階の、もう一つ前の状態をえがいています。人のいない、真っ暗で、何にもない(不毛の)砂漠のようでした。光といのちを、神が呼び出されるのを待っていました。

神の霊が水の面を動いていた。（2節下句）：（ヘブライ語の聖書）「そして神の霊が 水の顔の上高く動いていた。」(and the spirit of God was moving over the face of waters.)

動く（ラーハブ）は、英語で **hover**⁴ です。ヘリコプターがホバリング（空中停止）する。鳥が羽ばたいて、空中に停止する（低空飛翔する）。

¹ ガイドで「雰囲気」と訳した、**atmosphere** は、もともとギリシア語からの「蒸気」＋「球」で、地球を取り巻く大気圏のことです。

² 英文の副読本から、**A is for Air**（空気）——**the Activator**（活動的にする人）**of Our Vitality**（バイタリティ：生命力、活(気)力、元気、持久力）の結語文。

³ 上記の項目の中から、始めから第14番目の段落、結語文。つぎの文もまた、7番目の段落、結語文。

⁴ 英文・旧訳聖書のヘブライ語英語辞典 984a_8.

3. [新共同訳] 創 2:7 主なる神は、土（アダム）の塵で人（アダム）を形づくり、その鼻に命の息を吹き入れられた。人はこうして生きる者となった。

3.1. 「いのちの」＋「息」：ここ 創 2:7 では、ルアハツ（息、風、霊）とはちがって、「息」のために、（ネシャーマ）が使用されています。

ルアハツ（息、風、霊）は、聖書の神、人間、動物、偽りの神にさえも使用されています。ところが、ネシャーマ（息）は、主（ヤハウエ）と人間だけに使用されています。こうして、「いのちの息」は、一般的な・息・風・空気ではなくて、聖書の神ご自身の・生きた・息なのです。⁵

4. 主が、神の民イスラエルに言われます。「わたしが、わたしの霊をあなたに吹き込むときに、あなたは生きる。」：[新共同訳] エゼ 37:5 これらの骨に向かって、主なる神はこう言われる。見よ、わたしはお前たちの中に霊を吹き込む。すると、お前たちは生き返る。37:6 わたしは、お前たちの上に筋をおき、肉を付け、皮膚で覆い、霊を吹き込む。すると、お前たちは生き返る。そして、お前たちはわたしが主であることを知るようになる。

ふたたび、契約の神が神の民のなかにお住みになります。：[新共同訳] エゼ 37:27 わたしの住まいは彼らと共にあり、わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。

4.1. キリストを信じる人が、ほんとうに生きるには、聖書の神からの大きな奇跡を必要とします。ヘブライ語のルアハツ（息、風、霊）を「吹き込む」ことが、創 2:7 を私たちに思い出させます。聖霊のバプテスマがあると、聖書のみことばが・わかるようになります。聖書を読んで楽しいのは、聖霊のバプテスマをすでに受けている証拠です。

「・・・主が言われる。おお、息よ。・・・」（英語聖書、新リヴィング訳、エゼ 37:9）

⁵ 英文・新解釈者の聖書 1:350a_2.; NICOT 1:159_3.